

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

KECA ニュース = No.73 =



永谷天満宮からの富士 2022年12月

撮影：大竹 順之

～目 次～

p.2	1. 中小事業者の為のSDGsセミナーの報告	組織基盤強化PG7	守谷喜芳
p.3	2. 環境教育委員会活動報告	環境教育委員会委員長	岡本正義
p.5	3. 横浜市環境教育出前授業報告	環境教育委員会	大竹 順之
p.6	4 「第27回市民環境活動報告会 開催案内」	環境教育委員会	真砂 文夫
p.6	5. かながわSDGsパートナーミーティング参加記録	理事	中村 城治
p.7	6. 新入会員自己紹介		伊藤 哲郎

1. 中小事業者の為のSDGsセミナーの報告

組織基盤強化PG7 守谷喜芳

【日時】 2022年11月18日(金)・12月9日(金) 13:15~17:00

【会場】 横浜市西区社会福祉協議会多目的研修室(3階) 参加者 5名 世話役4名

<第一日目>

1. 「中小企業者のSDGs展開ノウハウ」

NPOかながわ環境カウンセラー会員 守谷 喜芳

2. グループ研修の進め方・例題となる仮想モデル企業の説明

NPOかながわ環境カウンセラー会員 中村 城治

3. 仮想モデル企業のSDGsの進め方を討議して、まとめを発表

4. 講評及びQ&A

<第二日目>

1. モデル企業のSDGs企画書の宿題を各個人が発表し、簡単な講評とQ&A

2. SDGsの実態調査報告; NPOかながわ環境カウンセラー会員 中村 城治

3. 中小企業のSDGsのまとめ方; NPOかながわ環境カウンセラー会員 守谷 喜芳

4. 総括及びQ&A

半日×二日間のセミナーは、演習と報告が参加者には有効であったようです。一日目は、SDGsの進め方の演習をグループで実施し、結果を発表した。二日目は、宿題になったSDGs企画書を各個人が発表し、それぞれについて世話役が講評をしました。これから自社に戻ってSDGsを展開するのに役立つと良いな一と思いました。



眞砂理事長
ご挨拶



グループ討議



検討案報告

2.【環境教育委員会の活動報告】環境教育委員長 岡本 正義

環境教育委員会が実施している出前授業の一例として、「バイオミクラー～生き物をまねた新製品を探せ～」をKECAニュースとして報告します。

目的:自然界の生き物の形や機能をまねた素晴らしい製品が身の回りにあります。それらを実際の物やモデルに触ったり観察したりして、素晴らしさを実感します。生き物を大切にする心を育みます。

アイスブレイク:虫探しです。どこにいるかな?何匹見つかるかな?



画像で発見する

など

展開1:生き物の形をまねて、素晴らしいものができています。さ一当てて見よう

生き物と製品の写真合わせ:どの生き物をまねて、どんな製品ができたのでしょうか?

生き物



ひつつき虫



カワセミ

製品

など5種類



新幹線



マジックテープ

など5種類

展開2:実験、体験をしてふしぎを発見しよう

1)いろいろなひつつき虫



オナモミ



マジックテープ



オナモミのとげの先は曲がっています

マジックテープはオナモミのとげの先をまねました。

ゴボウのとげ先も同じです・



オナモミ



イノコヅチ



ゴボウ

ひつつき虫のとげの先をルーペで見よう

とげの先を書いてみよう

2)カワセミ

カワセミは音をたてずに水に飛び込み、魚をとります

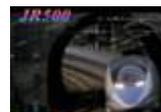


カワセミのくちばしと頭

新幹線の先頭車両は、高速運転に適した形をしています。そして+α



0系 東海道新幹線



500系 山陽新幹線



E5系 東北新幹線

山陽新幹線はトンネルが非常に多いです。トンネルの出入りは、騒音が大きいです

トンネルの数 66

トンネルの数 142



カワセミのくちばしと500系先頭車両の重ね合わせ写真



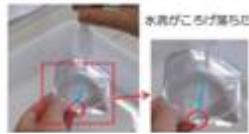
500系新幹線はトンネルを出入りするとき静かです。

先頭車両はカワセミのくちばしをまねました

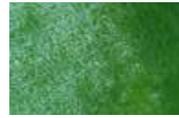
3)ハスの葉っぱ



ハスの葉っぱは水が丸くなる



ヨーグルトのふたも水が丸くなる



葉っぱの表面を顕微鏡で見ると粒粒がある

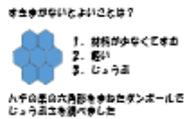


ハスの葉をまねたのでヨーグルトがつかない

4)ハチの巣



ハチの巣は六角形



じょうぶな段ボール:ハチの巣の六角形をまねました

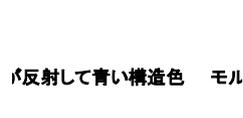
5)モルフオチヨウ



モル



ます 羽柄



が反射して青い構造色



モル



で青くなる

青く
原

オチヨウの発色

まとめ

- 鳥や虫、植物の形をまねて、次々に新しい、すばらしいものができています。
- 鳥や虫、植物はすばらしいことが分かりましたか？
- 鳥や虫、植物そして生き物がすんでいる自然を大事にしましょう

でも現在の地球上ではこんなことがおきています

1970年以降のたった50年間で、動物の個体数が平均70%近く減少していることが明らかになりました。

野生生物の数が、平均して3分の1以下になったという衝撃的な数字です。

種の絶滅率は現在、人間の活動が一切ない状況における自然の絶滅率の1,000倍を上回っており、多くの科学者は、私たちは6回目の大量絶滅、つまり6550万年前の恐竜の時代以来、地球上で最も多くの動植物が失われている時代を生きっていると訴えています。

世界自然保護基金とロンドン動物園協会が発表した「Living Planet Report」から

文責:岡本

3. 2022年の横浜市環境教育出前授業報告

環境教育委員会 大竹 順之

環境出前授業は、今年も横浜市環境創造局の環境教育出前講座プログラムに「体感！！ペットボトルの3Rと地球温暖化」を登録していたところ、4校の実施依頼を頂きました。そのうち3校は、横浜市内の放課後学童クラブで、学校の授業が夏休みとなる期間に実施したいという希望でした。小学校での出前授業と比較すると、1年生から5、6年生まで学年の異なる児童が参加するので、授業内容、特に知っている言葉を使うようにしなければならないこと、人数が14人、36人、65人とまちまちなこと、学校の教室のように机・椅子ではなく床に長机を置いて床に座って授業をするところが違います。

今年は、共通のプログラムとして、大量に使われているペットボトルなどのプラスチックが使用后、街や海を汚し、海の生きものを苦しめていることを写真・図で示し、プラゴミを減らすため3Rを進めること、リサイクルプラが作り出す再生材料・リサイクル製品を見て、リサイクルの有用性を理解すること、ペットボトルとキャップを分けるため、水に浮くか浮かないかの実験を体験することが狙いです。さらに、ペットボトルを使って（リユース）、浮沈子と空気砲を作る工作を行うことをプログラムに加えました。

コロナ感染防止に十分配慮し、学校のルールを尊重するとともに、クイズ、実験、工作を取り入れ、児童を飽きさせないことを心掛けました。工作では、手指のけがを防ぐため、切った底をやすり掛けした材料を用意し、低学年が多いことを考慮して、空気砲的（牛乳パック再利用）に、好みのキャラクター（ピカチュウが一番人気）の塗り絵を色付けした後、貼り付けてもらいました。

児童の感想で、「楽しかった、特に工作が楽しかった」「プラスチックが海の生きものに影響を与えること、ごみにしない・捨てないという意識が高いこと」が分かり、行動として、マイバッグを持っていく、ルールに従って分別して出す、マイボトルを持参するなどは、よく行われているように思いました。大人数の場合、講師の声が届かないことがあったので、マイク・スピーカーを使用した方が良い、とわかりました。

もう1校は、学童クラブではなく、横浜市立の入院・療養中の子どもたちのための特別支援学校で、制約条件のある授業でした。参加する児童が入院中の10人で、2カ所に分かれた院内学級での授業でした。本部教室の大画面TVの映像をリモートで2カ所へ送り、各入院先でプラ分離実験と、ペットボトル工作を体験しました。職員による児童のサポートが必要でした。コロナ対策を重視した授業で、私たち講師側も各教室の映像を見ることができましたが、状況を把握しにくい面がありました。ベッドに寝たままの児童は、職員が介助して実施しました。入退院があり参加人数が授業日までに変わることがあるので、工作材料に余裕を見て事前に入院先に提供しました。本校のように、特別な制約条件がある場合には、下見だけでなく、現地でのリハーサルによる確認が必要だと思いました。特別支援学校で病気療養中でも授業が受けられる仕組みがあることを改めて知ることができ、また、工作等を喜んでもらえて、出前授業をして良かったと思いました。（このプログラムに参加したのは、KECA 会員の大野、嶋田、大竹、千葉、掛橋です。）



水に浮いたプラを網ですくう

4. 「第27回市民環境活動報告会 開催案内」 環境教育委員会 真砂 文夫

日時 2023年3月5日(日) 13時から17時(予定)

場所 かながわ県民センター2階ホール

主催 第27回市民環境活動報告会実行委員会 (KECA 協賛)

開催テーマ SDGsの様々な活動

発表事例 ; 一般から募集

今年は、2年ぶりに対面での開催をします。いつもはパネル展示も併設してきましたが、コロナ過でもあり椅子席の座る位置を広く確保して感染対策を考慮しての開催となります。横浜駅西口からすぐですから当日の皆さんの聴講をお願いします。

5. かながわ SDGs パートナーミーティング (2022年11月22日実施) 参加記録

県 SDGs PS 担当 中村 城治

1. 全体の概要

1-1 神奈川県発表の「概要」スライドで実施

1-2 時間 14時～15時45分

1-3 開催形式 Zoomによるリモート形式

1-4 参加メンバー パートナーに登録した約800社の企業から、前日までに参加を希望したメンバーにZoomにアドレスが配布される。《参加企業名・参加者名は非公開》

2. KECAの登壇について

2-1 「パートナー企業同士のマッチング」

マッチングを希望する4社の内、「登壇希望企業の取組み紹介」の最後に登壇した

2-2 「登壇希望企業の取組み紹介」の内容

2-2-1 説明資料

『かながわ環境カウンセラー協議会(KECA)におけるSDGsの取組みについて』

2-2-3 説明者・時間 真砂理事長による約5分のプレゼンテーション

資料に従い、KECAの生い立ち、組織概要・活動概要・SDGsセミナーの概要今後の取組み等について、PPTのスライドを用いて説明を行った。

2-2-3 参加したKECAの会員(事前に指名)

河野副理事長・近藤副理事長・守谷監事・岩村会員・田中会員・中村理事(事務局)

2-3 ブレイクアウトルームでの討議について

2-3-1 ミーティングの参加者の内、希望者は、2-2で登壇した企業・団体のブレイクアウトルームを選択して入室し、登壇企業・県当局とのマッチング・意見交換会を行った。

2-3-2 KECA のブレイクアウトルーム参加者

県当局 幹事2名・一般2名 一般企業 1社

KECA 眞砂理事長・河野副理事長・守谷監事・中村理事(事務局)

2-3-3 ブレイクアウトルームでの意見交換内容

下記の項目を基軸にして、活発な意見交換を行った。

Q&A I 環境カウンセラー協議会としての活動実績について(補足説明)

Q&A II 学校での出前教育における SDGs の内容について

Q&A III 中小企業向け SDGs セミナーの詳細と特徴について

Q&A IV 中小企業向けコンサル活動での SDGs 推進のポイントについて

Q&A V 中小企業とのマッチングを進めるための県への要望事項について

3. 総括

ブレイクアウトルームでの意見交換の総括として、県の担当者から

- I 「環境カウンセラー」及び「かながわ環境カウンセラー協議会」についての広範な説明を受け、認識を新たにした。
- II 中小企業(零細企業含む)SDGs 活動の推進については、神奈川県のみならず、全国的に行政サイドの課題として認識している。
- III 実際に中小企業のコンサル経験を踏まえた取組みへの課題等について、KECA サイドの経験を共有できたことは有意義であり、県の施策にも反映したいと考えている。との発言があった。

6. 新入会員 <自己紹介>   ～～ 新入会員 伊藤 哲郎

今年6月、KECAの仲間に入れていただきました伊藤哲郎です(横浜在住)。eco検定アワードの表彰式で環境カウンセラーの先輩に登録エントリーをお勧めいただき、市民部門に登録致しました。かながわSDGsパートナー企業の建設会社で現役社員として環境保全の仕事をしています。現場時代は、大規模造成や地下鉄工事を担当しておりました。現在は、ESD(環境教育)、D&I社会支援を目指し、様々なネットワークの仲間と協働して地域の児童館で生態系保全教育を展開しております。来春には60歳を迎えますが、もう少し、仕事を続けながら、KECAの皆さんと活動して参りたいと思います。最近、海洋プラスチック問題にも取り組んでおります。皆さん、よろしくお願いします。 ～～  

【会員募集中】

当会は、中小企業の環境活動支援、地域の小学校等への環境出前授業、行政等と協働する市民環境活動を展開しております。環境活動に興味のある方、私たちと一緒に活動して頂ける方を募集しております。当会の活動内容は、ホームページをご覧ください。当会には、支部、委員会がありますので、仲間と共に興味に沿った活動ができます。これまで培った経験、知識を是非生かしてください。

【編集後記】

かけがえのない地球を未来の世代に受け渡すために、当協議会はコロナの収束と世界平和を願い、環境活動をしてまいります。(千葉)

表紙画像について；監査役の大竹氏が撮影した永谷天満宮頂上からの富士山です。

〔発行〕特定非営利活動法人

かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

理事長：真砂文夫 / 編集人：千葉雅子

◇住所：〒231 - 0001 横浜市中区新港 2 - 2 - 1

横浜ワールドポーターズ 6 階 NPO スクエア内

◇電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825

◇E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp

◇URL：<https://keca-kanagawa.jimdo.com/>